ハナノイロ

ァット 涙の雨が頬をたたくたびに美しく

くだらないルールからはみ出せずに泣いていた ぼやけすぎた未来地図 すり減ったココロを埋めたくて集めた 要らないモノばかり

バイバイ あの愛しき日々は戻りはしないから

プラ 開いてゆく 小さく閉じたココロが夜の隅で静かに いるづ 色付いてく もっと深く優しく朝の光を受けて

^{なみだ あめ ほぉ} 涙の雨が頬をたたくたびに美しく

だれかの明日をただ憂えたり嘆いたりすることが優しさなら すり減ったココロは思うよりも簡単に埋められやしないかな

ずんかい 何回だって間違えるけど終わりはしないなら たら 笑ってたいな

と 閉じてゆく ずっと隠してた傷が夜の隅で静かに ^{2な}繋がってく いつかはぐれたすべてが朝の光を受けて

がづいてく 何度となく夜を越え昨日より空の方へ たまに枯れながら そうしてまた光に目を細め深く呼吸をして

^{タッチビ ឆめ ほぉ} 涙の雨が頬をたたくたびに美しく